

平成25年度元気な大和っ子を育む学校表彰【知事賞】

【小学校】

学校名	香芝市立関屋小学校
取組名	いきいきチャレンジ関屋っ子 ～夢中になって運動に取り組む子どもの育成～
目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆全国平均以上の種目を6種目以上に ◆ソフトボール投げの記録 全国平均水準に
特色	<ul style="list-style-type: none"> ◆「業間チャレンジタイム」の実施(毎週月・水曜日) 学級・学年単位で業間の20分間を利用し、様々な遊び(縄跳び、鬼ごっこ、ボール遊び)に取り組み、運動時間の確保と運動習慣の確立を図る。 ◆「チャレンジスポーツ大会」の実施 チャレンジタイムの種目を中心にクラス対抗や低・中・高学年別などの形態でスポーツ大会を開催し、チャレンジタイムを続ける上でのモチベーションを高める。 ◆「縦割り遊び」の実施(6月、12月、2月) 学年縦割りで伝承遊び等に取り組む ◆業間かけ足の実施(11月の業間・15分間) ◆陸上記録会、水泳記録会への積極的な参加 平成25年度参加率 陸上記録会:73%、水泳記録会:23%
選定理由・特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ◆「業間チャレンジタイム」の取組内容は、学校の課題に迫る独自の内容となっている。また、継続して行っている。 ◆学校の課題である「投」能力向上につながる取組を授業で教材・教具を工夫し行っている。

【中学校】

学校名	東吉野村立東吉野中学校
取組名	HY Psup 長期計画 —東吉野 パワー&スタミナアップ長期計画—
目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆体カテストで全国平均を上回る ◆持久力の向上 ◆部活動の全員加入
特色	<ul style="list-style-type: none"> ◆幼稚園・小学校・中学校の連携 小学校への体カテスト支援事業や幼稚園への体力向上のための指導者派遣などを通して、東吉野村の幼児・児童・生徒の体力の実態を把握するとともに、幼稚園・小学校の指導者と連携して体力向上に向けた指導方法を検討。 ◆保健体育授業の充実 ◆部活動の充実 ◆全校体制で持久力アップのためのトレーニングを行い、校内長距離走大会を実施(12月)
選定理由・特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ◆体育の授業は、用具の配置や内容を工夫し、生徒が自ら積極的に取り組む内容となっている。また、自校の体力の課題解決に向けて、毎時トレーニングに取り組んでいる。生徒が個々の目標を設定し、授業や運動部活動で取り組んでいる。 ◆幼・小・中の体力を一体として捉え、村内の幼稚園・小学校の指導者と連絡をとり、情報交換や体力向上に向けた指導方法を考えたり、生徒とともに体育の支援や指導に出向き連携を図っている。 ◆自校の課題である持久力向上のため、冬期に校内長距離走大会を実施している。また、大会に向けて、授業を45分の短縮授業にし、放課後から下校バスまでの時間で20分間走を行っている。総距離42kmを目標としている。

平成25年度元気な大和っ子を育む学校表彰【教育委員会賞・小学校】

学校名	天理市立櫛本小学校	御所市立葛小学校	高取町立たかむち小学校	川上村立川上小学校
取組名	体力向上 櫛小っ子！	いきいき！くずっ子！ —元気に運動する子どもを 育てるために—	たかむちっ子体力向上大作 戦	チャレンジ川上っ子 —体を動かすことの楽しさを 味わわせるために—
目標	◆筋力、瞬発力、巧緻性を平均 値まで伸ばす	◆県、全国平均以上(全8種目)	◆持久力を平均以上に (平成24年度体力テスト調査に おいて、20mシャトルランのみT スコア50を下回った)	◆県平均以上(筋力、柔軟性を 含む6種目以上を全学年で)
特色	◆みんなで体力づくり！ 体育委員会を中心として、業 前・業間・昼休みになわとびや かけ足に取り組む。 ◆児童主体の体育授業づくり ◆地域と連携した取組 近隣の高校と連携した体力テス トの実施や、積極的な地域の体 育行事への参加 ◆充実した保健指導	◆くずっ子チャレンジ！ 外遊びを推進するため、運動場 の遊具・器具に学年に応じた チャレンジ項目を掲示し、児童 が興味をもって、目標をもって取 り組めるよう工夫。 ◆「外遊び、みんなでチャレン ジ！」の活用 県が実施している「外遊び、み んなでチャレンジ！」の種目に 業間休みや昼休みに全校で取 り組む。強化週間には、昼休み に記録の測定を行い、廊下に掲 示。 ◆体育授業の充実 全ての学年で毎時間5分程度、 基礎体力向上のための動きを 計画的に取り入れている。	◆縦割り遊びの実施(毎週火曜 日) 全校児童を20班に編制し、リー ダーが中心となり体力づくりを 行う。 ◆体育の独自の年間計画 体力テストの結果を分析し、結 果に基づいた独自の年間計画 を作成、校内研修を定期的に実 施して、全校職員で体力の課題 に向けた取組を進めている。	◆がんばりタイム 毎週月・火・木曜日に全校児童 が5分間のかけ足を行う。 ◆全校遊び(20分間) 毎週金曜日、体育委員会が計 画・運営し、全校で運動遊びを 実施。 ◆外遊びチャレンジ 業間休みや昼休みに一輪車や 竹馬を奨励 ◆体育の授業 自校の課題である、筋力・筋持 久力及び柔軟性を高めるため、 体育の授業でストレッチや鉄 棒、雲梯等を行う。 ◆各種校内大会の実施(なわと び、シャトルラン、竹馬) ◆握力向上器具の教室設置
選定理由・特記事項	◆11月から毎日、業前の時間を利用し、全校で3分間かけ足を、実施している。 ◆児童が主体的に取り組むことを目標に、学年等で内容を協議し、体育の授業を進めている。	◆体育の授業では、「元気な大和っ子」で紹介されているプログラムを、単元内容と関連させて、毎時間取り組んでいる。 ◆年間を通じて、県の外遊びみんなでチャレンジの取組を進め。秋には強化週間として、「くずっこ、チャレンジ2013」を休み時間に集中して実施。	◆縦割り体力づくり(火曜日)では、業前の時間を利用し、全校を20班に分け、伝承遊び等を中心に、縦割りで実施している。 ◆授業では、持久力の向上に向けて、授業の始めに3分間走を実施したり、投能力を高めるためにベースボール型やゴール型で投げる運動に重点的に取り組んだりしている。 ◆運動の機会を多くすることをポイントに、遊具の配置などを工夫し、授業や業前の取組を計画している。	◆持久力が低くなってきている状況から、毎週 月・火・木の朝の時間に5分間走を1年を通じて行っている。音楽にタイムを入れ込んだり、教員と一緒に走るなどして、児童の興味関心を高めている。 ◆小規模校の特徴を生かし、全校でほぼ毎日体を動かす活動を継続的に取り組んでいる。 ◆体育の授業では、筋力・柔軟性の課題を全ての学年で共通理解し、雲梯や柔軟運動を取り入れた内容も行っている。 ◆給食の内容など食育や、健康草履を活用したり、生活面での健康・体力向上にも力を入れている。

平成25年度元気な大和っ子を育む学校表彰【教育委員会賞・中学校】

学校名	橿原市立八木中学校	平群町立平群中学校
取組名	～絆～ 一体力・持久力を育てるために－ 奈良県橿原市立八木中学校 体力向上推進プラン	「全快」へぐりっこ 一進んで運動に親しむことができる子どもを育てるため に－
目標	◆長座体前屈、反復横跳び、50m走、持久走のTスコア「50」を達成する	◆全国平均以上(投力、持久力を含む5種目以上)
特色	◆各学年毎時間、授業の始めにランニングと補強運動・柔軟体操を実施 ◆各学期ごとに体育的行事を実施	◆体育の授業において、全ての学年で毎時間10～15分の体力向上支援プログラムに通年で取り組んでいる。 ◆保健体育授業の導入時に縄跳びカードを用いて、「チャレンジ縄跳び日本一周」を期間を決めて実施している。 「チャレンジ縄跳び日本一周」・・・100回失敗なしに連続して跳ぶことができれば、1コマ進むことができる。奈良県を出発地点として、日本一周に挑戦する。
選定理由・特記事項	◆運動部活動では、生徒数が900人を超える中、入部率が64.6%と県平均62%を上回り、活発な活動状況が見られた。 ◆体力は県平均や全国平均と比較し低い種目が多いが、前年度から向上した種目もあり、向上傾向が見られる。 ◆今年度、中学生体力向上支援事業モデル校として、大学教授の指導のもと、体力向上に取り組んでいる。	◆自校の体力テストを分析した上で、保健体育授業の導入において、各領域の運動の特性に合わせて、筋力や全身持久力の向上に向けて、工夫した取組を継続して実施している。 ◆運動部活動においても保健体育授業のトレーニング内容を発展させ積極的に取り組んでいる。 ◆保健体育授業の導入時に縄跳びカードを用いて、「チャレンジ縄跳び日本一周」を期間を決めて実施している。 「チャレンジ縄跳び日本一周」・・・100回失敗なしに連続して跳ぶことができれば、1コマ進むことができる。奈良県を出発地点として、日本一周に挑戦する。